

トピックス



予防指導課

1 贈呈式

消防庁では、近年、住宅火災による死者の内、高齢者の占める割合が増加していることから「敬老の日に『火の用心』の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者とそのご家族の方々に、火災予防の取り組みを行うよう注意喚起するとともに、高齢者に住宅用防災機器等をプレゼントすることなどを呼び掛ける「住宅防火・防災キャンペーン」(キャンペーン期間：9月1日～21日)を実施しました。(※内容は纏り8月号に掲載)

予防指導課では、このキャンペーンに伴い、一般財団法人全国消防機器協会の実施する「住宅用火災警報器等の配付モデル事業」の実施対象地区に選定された枚方市ひとり暮らし老人会の「悠ゆう会」、「和の会」に同協会から住宅用火災警報器、住宅用消火器、防災毛布が寄贈されたことを受け、消防本部にて島村消防次長から贈呈しました。



贈呈品 (左から住警器、消火器、防災毛布)

贈呈式後は住宅用火災警報器設置の重要性や住宅用消火器の使用方法等の教養を行いました。



悠ゆう会 代表 水谷会長



和の会 代表 日高会長

2 主な取り組み

- (1) 公共施設・主要駅等でのポスター掲示
- (2) 車両広報活動
- (3) 住宅用火災警報器等配付モデル事業

3 住宅用火災警報器の取付支援

9月15日及び9月20日に予防指導課と地域防災向上センターの職員が、設置困難なひとり暮らしの高齢者宅を訪問し、住宅用火災警報器の取付支援を実施しました。本事業にご協力いただいたのは、枚方市西長尾小学校区の「悠ゆう会」で、2日間で計10件のお宅に訪問し、住宅用火災警報器の必要性を理解していただき、計15個の住宅用火災警報器を設置・交換しました。



また、管内警察の依頼を受け、住宅用火災警報器の設置促進とともに、高齢者をターゲットとした、詐欺被害が増加していることから「STOP 詐欺防止」の広報活動も実施しました。

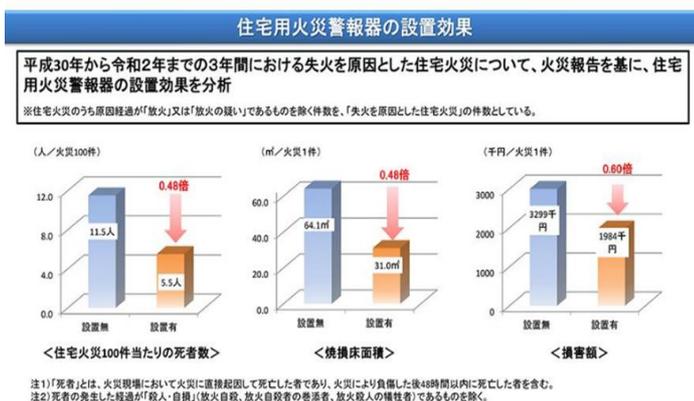


4 住宅防火・防災キャンペーンを終えて

本キャンペーンは住宅火災による全国の死者数が年間約900人前後にのぼり、そのうちの約7割が高齢者であり、今後、更なる高齢化の進展に伴い死者数の増加が懸念されていることから、高齢者を中心とした死者数の低減を目的に取り組んでいるものです。今年の本消防組合管内の火災による死者数はすでに3名（去年は1名）に増加し、すべて住宅火災によるものです。火災による被害、特に死者数を「ゼロ」にするためには住宅防火は必要不可欠なものとなっています。今後も、住宅防火診断や様々な機会を通じて火災による死者「ゼロ」を目指して取り組んでいきましょう。

5 住宅用火災警報器は共同購入がおススメ

住宅用火災警報器は住宅火災の被害を軽減させる効果があります。



また、地域で住宅用火災警報器の設置率向上を推進するために共同購入は効果的です。「住宅用火災警報器の購入あっせん事業」を活用した共同購入が活用できます。住宅防火診断等で共同購入に興味のある自治会等があれば予防指導課まで連絡をお願いします。